

「子どもに対する戦争」概要和訳

この報告書は、紛争の影響を受ける地域に住む子どもたちの安全と健やかな成長に関する懸念される状況について、子どもと武力紛争に関する国連事務総長年次報告書とオスロ平和研究所 (PRIO)¹ の新たな研究の分析を通して明らかにしています。これらの研究は公開され、独自に検証された信頼できる数値を利用していますが、データ検証のプロセスを通し、紛争下の子どもに特化したデータが、非常に不足していることがわかりました。

すべての紛争の当事者には、子どもを守る義務があります。しかし、世界各地の紛争では、凶悪な攻撃が子どもたちに対して日々行われており、当事者は、その責任を問われていません。このような子どもに対する暴力行為は、シリアでの残酷な紛争など、ますます増加しています。頻発する「子どもに対する戦争」を終わらせるための行動が、今、緊急に必要とされています。

報告書の要点は以下のとおりです：

- 紛争地域に住む子どもの数は、1990年代初頭に約2億人だったのに対し、2016年には3億5,700万人を超え、75%以上増加しました。6人に1人の子どもが紛争下で暮らしていることとなります。そのうち、1億6,500万人の子どもたちが高強度紛争²の影響を受けています。このような紛争地域に住む子どもは、学校や保健施設へのアクセスが不十分で、暴力に晒されやすくなります。
- 紛争の影響を受ける子どもたちの多くはアジアに住んでいますが、中東の子どもたちは紛争地域に住む可能性が最も高くなります。2016年には、この地域の5人に2人の子どもが紛争地帯から50キロ圏内の場所に住んでいました。またシリア、イラク、イエメンなどこの地域の紛争地にいる子どもたちは、6つの重大な暴力³を受ける危険性に晒されています。アフリカは2番目に危険な地域で、5人に1人の子どもが紛争の影響を受けています。
- 最新の総合的なデータによると、2016年現在、シリア、アフガニスタン、ソマリアは、「子どもにとって最も危険な紛争国10ヶ国」のランキングの上位に位置します。この結果は、6つの重大な暴力に関する評価や、紛争下で生きる子どもの割合などに基づいて決定されています。
- 多くの指標から、現在、過去20年のどの時期よりも、子どもたちが紛争の危険に晒されていることがわかります。紛争下では、データ収集に際し、大幅な制限や変動がありますが、はっきりとした傾向も見えています。例えば、子どもが殺害された件数と重傷を負った件数は、国連が検証したケースでも増加しており、この数は、2010年以降、約3倍の増加となっています。同時期、人道支援のアクセスが拒否されるケースも15倍以上増加し、さらに子どもが誘拐される傾向も強まっています。
- また、子どもを保護するための国際的な法律や規範の基準が改善されているにもかかわらず、自爆攻撃における子どもの使用、学校や病院への直接的な攻撃、クラスター爆弾、たる爆弾、小型簡易爆弾 (IED) などの無差別攻撃型の武器利用の拡大など、残忍な方法が用いられる傾向が強まっています。

¹ Bahgat, Karim, Kendra Dupuy, Gudrun Østby, Siri Aas Rustad, Håvard Strand & Tore Wig (2017) "Children and Armed Conflict: What Existing Data Can Tell Us." (PRIO, 2018). 本報告書のベースとなるレポート。

² 高強度の紛争とは、紛争に関連する年間死者数が1,000人を超えるものと定義されています。

³ 6つの重大な暴力とは、1)子どもの殺害と傷害行為、2)子どもの軍への徴兵と利用、3)子どもに対する性的暴力、4)子どもの誘拐、5)学校や病院に対する攻撃、6)子どもに対する人道支援のアクセスの拒否を指します。

- 紛争地域に住む子どもたちへのトキシック・ストレス⁴の心理的影響は深刻です。暴力を受けたことによるトラウマが、次世代の若者による平和な社会の再建への妨げとなり、新たな紛争への悪循環を生む可能性があります。
- 現代の紛争の本質は変化しており、民間人より兵士を保護する傾向が高まっています。この報告書では、子どもに対する重大な暴力の増加について説明していますが、この主な理由には、法令遵守の危機的な状況、モニタリング（監視）と報告の欠如、都市型紛争と人口密集地域における爆発型兵器の増加に加え、紛争の激化・長期化・複雑化などがあげられます。

私たちは、紛争下の子どもたちの生活に影響を与える国、軍およびすべての関係者に対し、下記の4つの重要なテーマについて、実践的な行動をとることを強く求めます。

- 子どもを危険な状況下に置くことの防止
- 国際法、国際基準の遵守
- 違反者に対する処罰
- 被害を受けた子どもたちの人生の再建

これらのテーマに関する具体的な政策提言は、報告書のセクション 3.1 に記載されています。この報告書の結論、そしてメッセージは明確です。私たちは残虐で無関心な世の中の流れを変え、紛争下の子どもたちを守るために、力を合わせてともに行動を起こす必要があります。

⁴ 脳や身体が過度なストレスを長期間受け続けることで、教育や健康への悪影響が一生涯にわたって及ぶ、脳への不可逆的なダメージ。Center on the Developing Child, Harvard University(2017)
<https://developingchild.harvard.edu/science/key-concepts/toxic-stress/>